

出題のねらい

各家庭及び校種を問わず学校教育現場では、「やる気のもてない子ども」について、いかにすれば「やる気」を出させることができるのかという、根本的かつ難しい問いに直面する機会が多いものと思われる。もともとこれに対しては様々な「答え」が考えられようが、本題では、著者である児童精神科医と小学校教諭が述べていることについて、受験生の読解力を試すことがねらいの一つである。加えて、「やる気」の問題に密接に関わる、そもそも「なぜ勉強をする必要があるのか」という「勉強をする目的」について、この論稿を踏まえた上で、受験生自身が、将来教師になることを見据えて、自らの考えを簡潔に述べられるかを問うことが、もう一つのねらいである。

問1～問3の問題を通して、提示された文章についての受験生の基礎的な読解力、要約力および思考力について評価する。問1は、「やる気のないように見える子」について、「やる気」を出させるために筆者はこうした良いと考えているのかについて読み取り、本文に沿って的確にまとめていくかを問うものである。問2は、子どもたちがそもそも「やる気」を持っていない原因として、筆者がどのように考えているのかについて読み取り、それを要約する力を問うものである。問3は、文章全体を踏まえた上で、「勉強する目的」をどう子どもたちに伝えればよいのかという点を考えさせて短くまとめさせることで、受験生の思考力を問うものである。